

エアライン・トレーニング・スタディ(春期)

プログラム区分	海外実習	
主幹部署・問合せ先	現代国際学部	
研修先国・都市名	オーストラリア・ブリスベン	
研修先	Aviation Australia (Queensland 州政府出資施設)	
プログラム概要	<p>オーストラリア・ブリスベンにある Aviation Australia (AA) において、全て 英語で実施する研修です。滞在中は現地の家庭にホームステイし、オーストラリア の日常生活を体験します。インストラクターは外資系エアラインでの豊富な乗務経験を持つ英語のネイティブスピーカーです。機内英語、お客さまへの対応、エアラインの安全全般に関する知識を座学で学んだ後、施設内のモックアップ (シミュレーション用の機体) で実践します。特に安全に関しては、セーフティ・デモンストレーション、緊急脱出、急減圧対応、海上脱出 (プール使用) など本格的な内容を体験することができます。終盤には採用試験を想定した英語での模擬面接にも挑戦します。また施設内の整備用飛行機を見学する時間も設けられており、バリエーションに富んだプログラムを通して、エアラインと客室乗務員の仕事を肌で感じる事が出来る 7 日間の研修コースです。</p>	
日程	2027 年 2 月中旬～2027 年 2 月下旬 (2 週間)	
単位認定	エアライン・トレーニング・スタディ B (2 単位)	
他学科生の受入れ	可 受入れ可の他学科：全学科	
内容	語学研修：無	語学研修以外の内容：有
引率者の有無	全日程	
住形態	ホームステイ	
参加費用 (概算・見込み)	参加費総額： 700,000 円/人 大学補助金： 最大 350,000 円	
その他		

体験記

エアライン・トレーニング・スタディ(春期)に参加して

氏名：林 華奈 (2025 年度参加)

Aviation Australia での 7 日間は、客室乗務員という仕事についての理解をより深めることができ、保安要員としてもサービス要員としても高い専門性と責任が求められる仕事であることを強く実感する毎日でした。

安全面では、脱出用スライドを滑る訓練や着水時の救難訓練を通して、何を優先し、どのように行動するべきかを考える貴重な機会となりました。サービス面では、より良いサービスを提供するためには幅広い知識だけでなく、相手の状況を細かく察知する力や落ち着いた対応が必要であることを学びました。

客室乗務員には華やかなイメージがある一方で、高い体力と精神力に加え、常に安定して対応する力が求められる仕事だと改めて感じました。また、自信を持って行動することが乗客からの信頼につながり、安全と快適さを支える大切な要素だと学びました。さらに、2 年次にこの研修に参加できたことで、今後の学びや進路選択にも余裕を持って向き合えたと感じました。

ホームステイでは、すべて英語で伝える難しさを感じる場面もありましたが、日本との違いに触れ、文化そのものへの理解を深めることができました。週末にはフェリーで島へ連れて行っていただき、オーストラリアならではの自然や動物に触れられたことも印象に残っています。

私はこの研修に参加し、最後までやり遂げたことが大きな自信につながったと感じています。また、12 人のメンバーと協力し、高め合う中で、チームワークの大切さも実感しました。この経験を今後の学校生活や進路選択に活かし、安心と笑顔を届けることのできる客室乗務員を目指したいです。

